

# 中心市街地活性化における公共図書館整備

桑原芳哉(慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻)  
(yoshiya@slis.keio.ac.jp)

## 1 研究の背景及び目的

近年、駅前再開発ビルへの整備など、公共図書館が中心市街地に整備される事例が頻見され、その活発な利用状況に関する報道も見られる。中心市街地の活性化を図るにあたり、図書館の持つ集客力が評価され、来街者の増加による賑わいの増大や近隣商業施設の来店者の増加という効果が期待されているものと推察される。

発表者は、昨年の研究大会において、中心市街地活性化と公共図書館整備の関わりについて、中心市街地に商業施設など民間施設との複合施設として整備された図書館を対象とした調査結果を発表した<sup>1)</sup>。この発表では、施設規模、利用状況、施設内での図書館設置階について分析し、青森市等の事例について、歩行者通行量及び商品販売額により中心市街地の活性化に関する図書館整備の効果について考察を試みた。しかし、中心市街地に整備される図書館は、商業施設等との複合施設以外の事例も多い。そこで今回は、調査対象を中心市街地に整備された公共図書館全般に拡大し、引き続き中心市街地の活性化に関する図書館整備の効果について検証を試みる。

## 2 研究の方法

### 2.1 調査対象事例

調査対象は、1989年以降に中心市街地に整備された公共図書館とした。調査対象とする中心市街地については、その活性化の必要性が明瞭であるという観点から、「中心市街地活性化基本計画」が策定されている自治体において、計画で規定されている区域とし、中心市街地活性化本部ホームページ<sup>2)</sup>及び「街元気：まちづくり情報サイ

ト」<sup>3)</sup>により確認した。該当する地域において、1989年以降2009年6月までに整備された公共図書館は123館(111自治体)である。また、「中心市街地活性化基本計画」において、図書館整備を事業として位置づけ、整備に着手する予定が公表されている自治体についても、後述する自治体担当者への質問紙調査の対象とした。この図書館整備計画中の事例は28件であり、合わせて151の事例を調査対象とした。

### 2.2 調査方法

#### 2.2.1 自治体中心市街地活性化担当者に対する質問紙調査

中心市街地への図書館整備については、中心市街地活性化基本計画における事業と位置づけるなど、各自治体において中心市街地活性化への効果を期待する事例が多いと推察される。そこで、図書館整備が中心市街地活性化にもたらす効果に関して、自治体の中心市街地活性化担当者の認識を調査することを目的に質問紙調査を行った。

調査項目は、図書館整備の経緯、中心市街地活性化に関して期待された効果、図書館整備後の実際の効果についての担当者の認識である。なお、図書館整備計画中の自治体については、図書館整備の経緯及び期待している効果についてのみ調査した。

#### 2.2.2 商業集積地の年間商品販売額に関する調査

中心市街地活性化の指標としては、歩行者通行量、年間商品販売額、常住人口等が多く使用されている。このうち、経済産業省の「商業統計調査」により調査結果が公表され、全国を網羅したデータ採取が可能であるという点から、年間商品販売額の推移を調査し、図書館整備との関係について

考察を試みた。

経済産業省による「商業統計調査」のうち「立地環境特性格別統計」を用いて、中心市街地に整備された図書館に近接する商業集積地の年間商品販売額の推移を調査した。具体的には、2007年の商業統計表に掲載されている商業集積地のうち、調査対象とした図書館からおおむね100m以内、200m以内、500m以内の商業集積地を特定し、1988年から2007年までの各調査年次(1988, 1991, 1994, 1997, 2002, 2004, 2007の各年)について、商業集積地ごとの年間商品販売額を集計した。

### 3 調査結果

#### 3.1 自治体担当者に対する質問紙調査

質問紙は、図書館整備済みの123件及び整備計画中の28件、合わせて151件に対して送付し、整備済み98件、計画中24件、合計122件について回答を得た。

##### 3.1.1 図書館整備に期待する効果

図書館整備に期待する効果に関する設問への回答を集計すると(第1表)、「ない・わからない」はきわめて少なく、中心市街地の活性化に対して何らかの効果を期待していることが確認できる。期待する効果の内容としては、来街者の増加、住民満足度の向上、商業施設の販売額増加といった項目の回答が多い。

第1表 中心市街地の活性化について  
図書館整備に期待する効果に関する回答

	整備済み		計画中	
	回答数	比率	回答数	比率
来街者の増加	67	68.4%	20	83.3%
商業施設の 販売額増加	42	42.9%	14	58.3%
常住人口の増加	21	21.4%	6	25.0%
イメージの向上	48	49.0%	10	41.7%
住民満足度の向上	76	77.6%	11	45.8%
風俗産業の排除	4	4.1%	2	8.3%
その他	5	5.1%	5	20.8%
ない・わからない	3	3.1%	1	4.2%
総数	98	100%	24	100%

#### 3.1.2 実際の効果

図書館整備済みの事例に関しては、実際の効果についての認識についても尋ねた。回答を集計すると(第2表)、期待する効果と同様に「ない・わからない」は少なく、何らかの効果があったという認識を持つ担当者が多い。実際の効果として多かった回答は、住民満足度の向上、来街者の増加、イメージの向上といった項目である。

第2表 中心市街地の活性化について  
図書館整備による実際の効果に関する回答

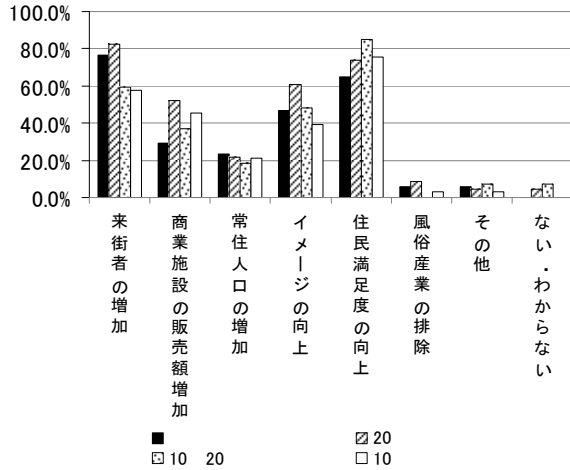
	回答数	比率
来街者の増加	55	56.1%
商業施設の販売額増加	12	12.2%
常住人口の増加	7	7.1%
イメージの向上	46	46.9%
住民満足度の向上	59	60.2%
その他	3	3.1%
ない・わからない	8	8.2%
総数	98	100%

この実際の効果についての認識に関して、当初の期待との差異の有無について確認するため、2つの設問についてクロス集計を行った。期待する効果と実際の効果はおおむね一致しているが、商業施設の販売額増加については、期待に比べて実際の効果の回答が少ない。

##### 3.1.3 蔵書規模による分析

中心市街地の活性化に関する図書館整備の効果の認識について、図書館の蔵書規模別に分析を試みた。これは、大規模な図書館を整備する場合には、集客力の大きさから、来街者の増加や商業施設の販売額増加という効果に期待するのに対し、小規模の図書館整備では、利便性の向上による住民満足度の向上といった効果を見込むのではないかという考えに基づくものである。

集計の結果、期待する効果、実際の効果とも、来街者の増加については、蔵書規模による差異が認められるが、それ以外の項目については蔵書規模による差異は認められない(第1図)。



第1図 蔵書規模別「期待する効果」の回答の比率

### 3.1.4 実際に把握している数値指標及び自由記述回答

図書館整備済みの事例については、実際に把握している数値指標についても尋ねた。具体的な数値指標を測定している事例は少ないものの、その中では図書館近隣の歩行者通行量を測定している事例が比較的多く、図書館開館前後で通行量が増加している例も回答されている。

また自由記述による回答の中で、「中心市街地の中でも有数の集客がある施設」「他都市からの利用者も増え、満足度向上に寄与している」「図書館休館時には明らかに商業施設の集客が落ちる」といった記述があり、具体的な数値は把握していないものの、中心市街地の活性化にある程度効果をあげている状況がうかがえる。

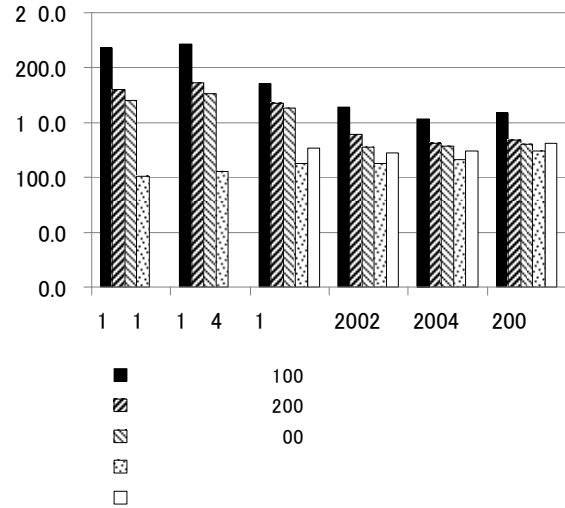
### 3.2 商業集積地の年間商品販売額に関する調査

1988年以降の商業統計調査の実施年次のうち、商業集積地ごとの年間商品販売額が公表されている年次について、調査対象とした図書館からおおむね100m以内、200m以内、500m以内の商業集積地の事業所数及び年間商品販売額を集計した。

#### 3.2.1 事業所あたりの年間商品販売額

事業所あたりの年間商品販売額について、

既設の図書館に近接する商業集積地の集計と、商業集積地全体及び中心市街地における商業集積地合計との比較を試みた(第2図)。図書館に近接するほど、事業所あたりの販売額が大きいという傾向が見られる。



第2図 事業所あたりの年間商品販売額(百万円)

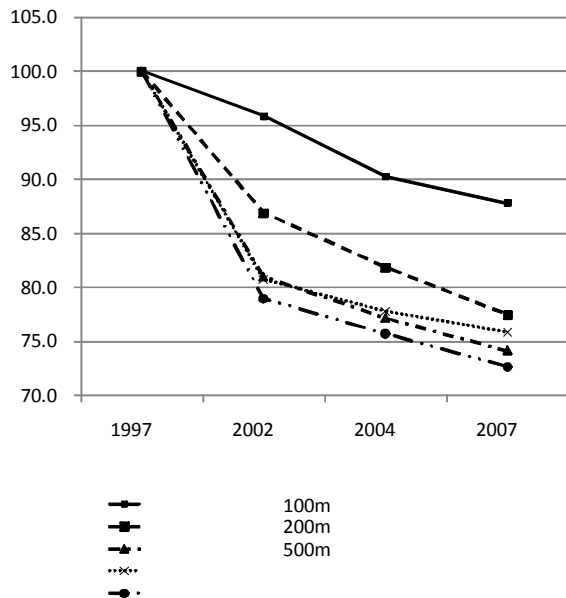
#### 3.2.2 年間商品販売額の推移

次に、商品販売額の推移について比較検討するため、1997年以降の中心市街地における年間商品販売額の推移について、図書館に近接する商業集積地と、中心市街地全体、及び商業集積地全体との比較を試みた。なお、1997年以降に限定した理由は、商業統計表において中心市街地に限定した集計の公表が1997年以降に限られるためである。

1997年を100として推移を比較すると(第3図)、いずれも減少傾向にあるものの、中心市街地全体に比べて、図書館に近接する商業集積地については減少の幅が小さい。また、ここでも図書館に近接するほど減少幅が小さいという傾向が見られる。

#### 3.2.3 開館前後での商品販売額の比較

図書館開館時期の前後における年間商品販売額の比較を行うため、商業統計表の調査年次における調査対象図書館の開館直前と直後の年間商品販売額を集計し、開館前後での増加率を算出して、商業集積地全体



第3図 商業集積地年間商品販売額の推移 (1997年を100とした場合)

及び中心市街地合計との比較を行った(第4図)。同じ時期における比較では、おおむね図書館に近接する商業集積地の増加率が高く、また全般に図書館に近いほど増加率も高い(減少率が低い)傾向がうかがえる。

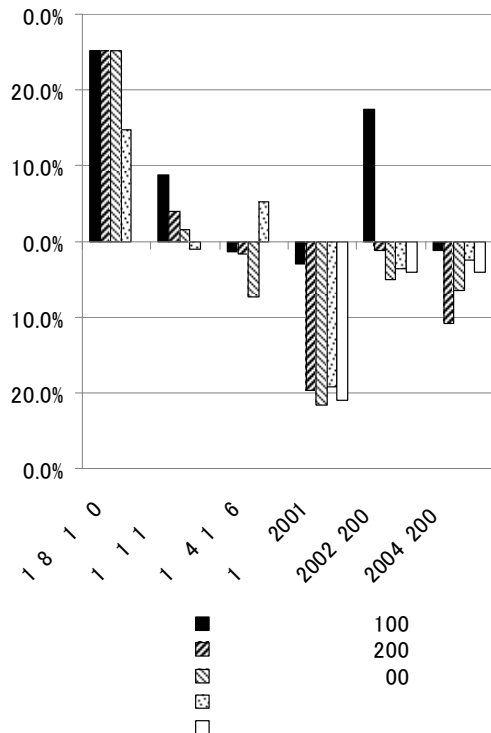
#### 4 調査結果に関する考察

##### 4.1 公共図書館整備が中心市街地活性化にもたらす効果

自治体の中心市街地活性化担当者への質問紙調査において、自治体担当者において、中心市街地への図書館整備が中心市街地の活性化に効果をあげているという認識があり、また一部は歩行者通行量の増加といった指標で確認できることが判明した。また、中心市街地における商業集積地の商品販売額の分析では、図書館に近接する商業集積地において比較的活発な商業活動が行われていることがうかがえる。

##### 4.2 調査の限界と課題

しかし、商業統計の分析については、この結果を直ちに図書館整備の効果と位置づけることは困難である。調査対象とした図書館については、商業施設との複合整備の



第4図 図書館開館前後における商業集積地年間商品販売額の増加率

事例もあり、商品販売額の実績が図書館の利用とは関連しない可能性もある。一方で、図書館の集客力については、自治体担当者による回答でおおむね肯定されたと考えられることから、図書館の存在が商業施設の活動に影響している可能性も十分に想定できる。引き続き現地調査などにより、これらの課題についての検証が必要と考える。

#### 文献

- 1) 桑原芳哉. 中心市街地再開発による図書館整備—民間施設との複合整備事例を中心として—. 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2008年度, 2008, p.49-52.
- 2) 内閣府中心市街地活性化担当室. 認定された中心市街地活性化基本計画について. 2009, <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/chukatu/nintei.html>, (参照 2009-9-6).
- 3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構地域経済振興部中心市街地支援室. 街元気: まちづくり情報サイト 中心市街地データベース. 2009, <http://www.machigenki.jp/content/view/221/252/>, (参照 2009-9-6).